

高知県個人情報保護条例第 35 条第 1 項の規定に基づき、下記について諮問します。

令和 3 年 1 月 13 日

高知県知事 瀧田省司

記

1 個人情報のオンライン結合による提供に関する事項

下表を、条例第 11 条第 2 項に該当する事項の個別事項として取り扱うことについて。

番号	担当課室	システム等の名称 (提供先)	事務の名称	理由又は必要性等
1	農業イノベーション推進課	IoP クラウド (IoP クラウド利用者: 生産者、県・JA 指導者、 大学、企業等)  ※IoP クラウド 参考資料 1, 2 参照	・ IoP クラウド運営に 係る事務	施設園芸ハウス内の環 境データ等をクラウド上 へ収集し、スマートフォ ンやパソコンで迅速かつ 経時的な閲覧を実現す ることにより、生産者自身 の栽培技術の改善や県普 及指導員や JA 営農指導 員等の営農支援に活用で きる。

# 個人情報のオンライン結合による提供に関する調査票

(条例第 11 条第 2 項)

令和 3 年 1 月 12 日作成

個人情報取扱事務を所管する組織の名称	農業振興部 農業イノベーション推進課
個人情報取扱事務の名称	IoPクラウド運営に係る事務
個人情報を収集する目的及び理由	<p>【目的】 各生産者の栽培技術の改善や県、JA 指導員等が営農支援に活用するため。</p> <p>【理由】 本県の施設園芸ハウスでは、環境制御技術の普及によりデジタル技術を活用した栽培が行われるようになってきたが、収集したハウス内の環境データを栽培に十分活用できていない。ハウスをインターネットで接続することで、ハウス内に保管されているデータを IoP クラウドで収集・分析し、各生産者へのフィードバックを通じた栽培技術の改善や県、JA 指導員による営農支援に活用することを目的として個人情報を収集する。</p>
個人情報を収集する根拠法令等	なし
オンライン提供をする個人情報の内容	参考資料 3 参照 ※これらのデータは、個人と結びつかない限り数字の羅列となるが、生産者への情報提供のため、IoP クラウド上のメールアドレスと結びつける事より個人情報となる。IoP クラウドから情報提供する生産者は、同意した生産者のみとなり、自らのデータしか閲覧できない。また、氏名や住所などの重要な情報は、県庁サーバ (LGWAN) で管理する。
提供先	IoP クラウド (AWS サーバ)、LGWAN サーバ
オンライン提供の理由又は必要性等	<p>【理由】 IoP クラウドの利用者自らが常時データを閲覧可能な状態にするため。</p> <p>【必要性】 施設園芸ハウス内の環境は、天候により刻一刻と変化するため、利用者は、リアルタイムでハウス内の状態を閲覧する必要がある。また、ハウス内環境や機器の異常を知らせる警報機能も搭載される計画であるため、IoP クラウドからの迅速な情報伝達を可能とするオンライン提供が必要となる。</p>

# 参考資料1 もっと楽しく、もっと楽に、もっと儲かる農業を 目指してIoPクラウドを構築します。

R3.2.2  
農業イノベーション推進課



気象  
データ



施設  
環境  
データ



生育  
状況  
データ



画像  
データ



出荷  
データ



栽培  
管理  
データ



生産  
履歴  
データ

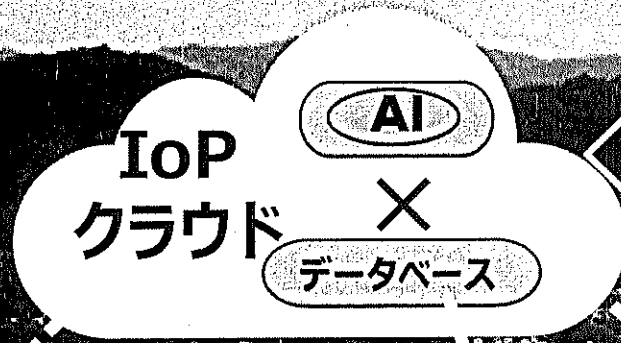


エネルギー  
データ



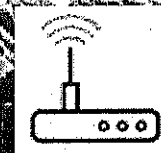
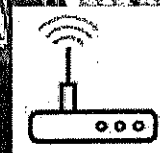
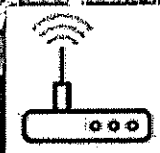
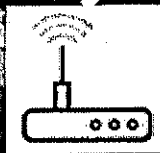
病害虫  
データ

etc.



IoPの最先端研究による  
最適モデルを実装！

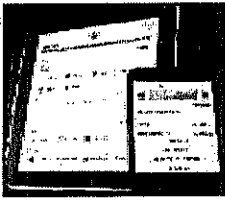
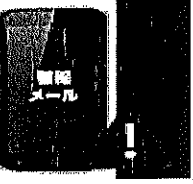

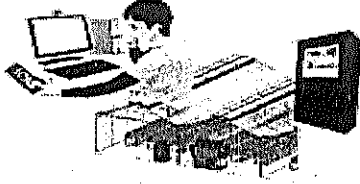
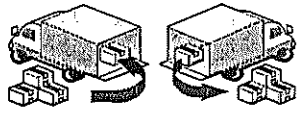
個々の農家の皆様に、有益情報としてフィードバック！



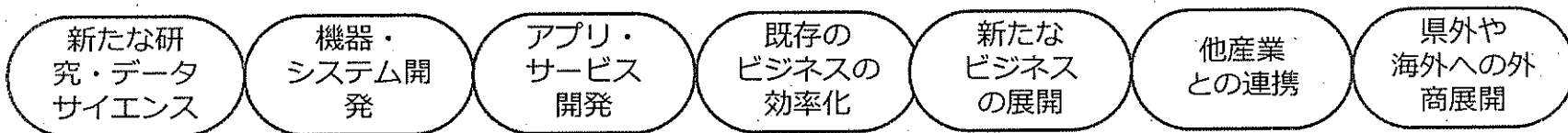
# 参考資料 2 IoPクラウドで実施するサービス

## 1. IoPの普及（農業分野での「Society5.0」実現）のために、5年以内にすべてのハウスをネットにつないでいきます

## 2. IoPクラウド（仮称:サワチ）で、自分の必要な有益情報を自由に活用できます

<p><b>装備 1 環境/収量・経費の見える化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圃場環境、作物の状態、収量・品質、毎日の経費、出荷量・時期の予測等をスマートフォンやパソコンで「いつでも」「どこでも」把握可能。</li> </ul> 	<p><b>装備 2 監視と警報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハウスの温度異常や、機械のトラブルを警報メールで知らせてリスク回避可能なインフラを整備すること。</li> </ul> 	<p><b>装備 3 コミュニケーションインフラ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培情報共有、営農日誌などの情報共有コミュニケーションを容易にすること。</li> <li>プッシュ型での個別有益情報の定期配信サービス</li> <li>グループウェア機能</li> </ul> 	<p><b>装備 4 遠隔制御/自動化・省力化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジュアル遠隔制御画面で、遠隔からハウスの中を操作可能とすること。</li> <li>温湿度管理、水・肥培管理、病害虫診断等の自動化</li> <li>データに基づく自動制御</li> </ul> 	<p><b>装備 5 販路拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作物の状態や生産履歴、GAP点検項目、機能性成分等をスマートフォンやパソコンで「いつでも」「どこでも」確認・トレースできる。</li> <li>マーケットインで受発注取引可能にすること。</li> </ul> 
--	--	--	--	---

## 3. 施設園芸関連産業群の創出につなげ、施設園芸以外の農業やその他の産業でも活用できるしくみを構築していきます。



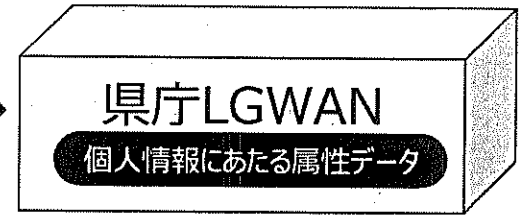
属性データ

県・JA

LGWANへ (個人情報)

●生産者関連データ  
(法人/個人、法人名/個人代表者名(カナ・ローマ字)、住所、携帯電話、就農年)

●収入・経費データ  
決算書



=以下のデータは、個人と結びつかない限り数字の羅列=  
※Emailは、システムの稼働のため必須の情報

時系列データ

ハウス

●ハウス内環境データ  
(温度、湿度、炭酸ガス濃度、日射量、飽差、農業機器のオン・オフ、かん水量)

●画像データ  
(ハウス内、生育、花数、実数)

JA

●出荷データ  
(出荷量、品質)

●販売データ  
(販売額、単価)

気象庁

●気象データ(個人情報ではない)  
(気温、湿度、日射量、風向・風速、降水量)



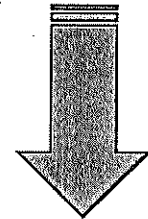
属性データ

県・JA

●生産者関連データ  
(Email、クラウド上独自番号、サワチログインパスワード(暗号化済み)、ハウスほ場(数・面積)、産地行政区分、JA電算センター地区番号・IoP連携ID、加入組合・部会、支所名、労働人役、就労形態、出荷者ID、出荷割合)

●ほ場関連データ  
(ハウス名称・ハウス面積・所在地区、IoPクラウド接続有無、ハウス構造(奥行、軒高、間口、連棟数、外張被覆資材・開閉方法、天窓位置、内張層数、カーテン種類、サイド内張層数) 環境測定装置・導入年・機種名、加温/無加温、加温方法、重油加温機・台数、ガス加温機・台数、木質ペレットボイラー・台数、ヒートポンプボイラー・台数(室内機)、炭酸ガス・台数・導入年・コントローラ・施用方法、細霧装置・導入年、除湿装置・導入年、循環扇・台数、複合/統合環境制御装置・導入年・装置名、自動かん水制御装置・導入年、かん水(方法・チューブ・チューブ配置数・ポンプ能力、栽培品目、位置情報)

●栽培関連データ  
(栽培品目、作型、目標収量、定植日、接ぎ木/実生、品種(穂木・台木)、株間(cm)、苗、苗購入品名、うね幅(m)、植付条数、栽培株数、株当たり仕立本数、仕立方法、収穫開始・終了月)



生産者

